

# ねりま小中一貫教育レポート

〇●〇 第 25 号 〇●〇

平成 26 年 6 月

発行：教育企画課・教育指導課

「ねりま小中一貫教育レポート」は、小中一貫教育の取組を全校で共有するため、随時発行しています。第 25 号では、平成 25・26 年度小中一貫教育研究グループに指定されている「豊玉中・豊玉小・豊玉南小」グループの取組について紹介します。

豊玉中グループでは、国語と社会で課題改善カリキュラムの作成を進めていますが、それ以外の教科でも連携を進めていこうと、校区别協議会を活用して、豊玉中学校の保健体育科と美術科の教員が、豊玉南小学校の教員と一緒に体育と図工の授業を行いました。

## ◆体育・保健体育の乗り入れ授業



体育の授業では、小学 6 年生の「ハードル走」を行いました。乗り入れ授業に先立ち、当日の授業だけでなく、「ハードル走」単元全体の指導計画について、チームティーチングを行う小・中学校の教員で、何度も打合せを行って学習指導案を作成しました。

当日の授業では、まず中学校教員がハードル走の際の足の振り上げ方、足の抜き方、前傾姿勢の取り方を説明しました(=写真⑤)。

体育館の壁や床には、中学校教員の助言により、足を振り上げる高さの目安となる印(=写真⑥上)やハードルを飛び越す際の足の位置を確認するための足跡(=写真⑥下)があらかじめ貼ってあります。

中学校の授業では、線を引くだけですが、小学校教員が丁寧に足跡の絵を作るなどして工夫をしています。

授業の後半は、小学校担任が指導するグループ(=写真⑦左)と中学校担任が指導するグループ(=写真⑦右)に分かれて、練習を行いました。



### ◆図工・美術の乗り入れ授業

図工の授業では、小学5年生の「作品鑑賞」でした。鑑賞する作品は、豊玉中学校3年生が制作した「明るい選挙啓発ポスター」の作品です。

美術科教員は、乗り入れ授業に先立ち、小学5年生がどの程度の作品を描けるのかを把握するために、小学生の作品を見たり小学校の図工科教員から話を聞いたりしました。



指導計画では、子供たちが作品の感想を書いて発表する際、班ごとに「画商」になって自分たちが鑑賞した絵を他の児童に「売り込み」、全部の班の発表が終わったら「入札する」という仕掛けを取り入れて、子供たちが感想を書きたくなるような授業を工夫しました。

豊玉中グループでは、ICT教育も研究テーマの一つとなっています。当日の授業では、パソコンや実物投影機なども活用して、中学生の作品を鑑賞したり、中学生が発表する様子を見たりしました（=写真⑤）。

### ◆乗り入れ授業後の協議会

乗り入れ授業後の協議会では、中学校から小学校に乗り入れる場合、「学習指導案は、小学生向けに作るのか、あるいは中学生の授業を体験するという意味で中学校的なスタイルで作るのか」「どこの単元で中学校教員に入ってもらった方が効果的なのか」「学習規律はどう違うのか」「小学校でやっておいた方がいいことがあるか」などについて、活発な議論がありました。

乗り入れ授業を実施した中学校教員からは「今まで、中学校で初めて教えると思っていたことが、小学校ですでにやっていることがわかった」「自分自身にとって、とても勉強になった」、小学校教員からは「中学校の先生と一緒に学習指導案を作って、なるほど、こんなふうに教えればいいのかとわかって楽しかった」などの感想が聞かれました。

### ◆課題改善カリキュラム作成委員会

校区別協議会に続いて、課題改善カリキュラム作成委員会が開かれました。

国語部会では、説明文を読み取る力を向上させるためのカリキュラムづくりに取り組んでいます。まず説明的文章を読むための9年間の指導事項を整理し、小学校教員と中学校国語科の教員で、指導方法の工夫について話し合っています。今後は、課題改善カリキュラムの考え方を活かした研究授業を行い、子供たちの反応をみながらカリキュラムを検証していく予定です。